



ファインスチール

Winter 2011

冬
ミ



CONTENTS

01 特集1

塗装亜鉛系めっき鋼板
ご使用の手引き 改訂について

03 特集2

環境に対応した種々の工法
「屋上緑化」編

05 ファインスチールを使った 建築設計例

スイミーハウス 設計:三浦文典+原口剛

09 板金工事に関する用語集その15

11 建築めぐり

テーマ建築 3 丸山雅子

13 街でみかけるファインスチールの施工例 その5

社団法人 日本鉄鋼連盟

塗装亜鉛系めっき鋼板 ご使用の手引き 改訂について

「塗装亜鉛めっき鋼板 ご使用の手引き」が改訂されてから約5年が
 経ち、環境変化への対応など、最新の情報を反映する形で再改訂
 しました。当特集ではその主な改訂内容についてご紹介します
 (なお詳細は冊子、ファインスチールWebサイト掲載のPDFにて
 ご確認ください)。[URL] <http://www.finesteel.jp/>



■ 主な改定内容

① 使用上の注意事項の充実

(ア) 「異種金属接触腐食に関する記載」を
 追加・充実化

(イ) 雨がかりの少ない部位でのご使用

- 雨がかりしない部位の付着塩分量 (図 1)
- 酸性雨のメカニズム (図 2)
- 冬季の各地硫黄酸化物沈降水量 (図 3)
- 新潟暴露試験結果 (図 4、図 5)

まとめ 雨がかりの少ない部位は腐食環境にあります。

対策 (1) 定期的な洗浄

(2) 材料選択

- ・ フッ素樹脂塗装、厚膜塗装を推奨
- ・ 下地は、溶融 55% アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板が望ましい

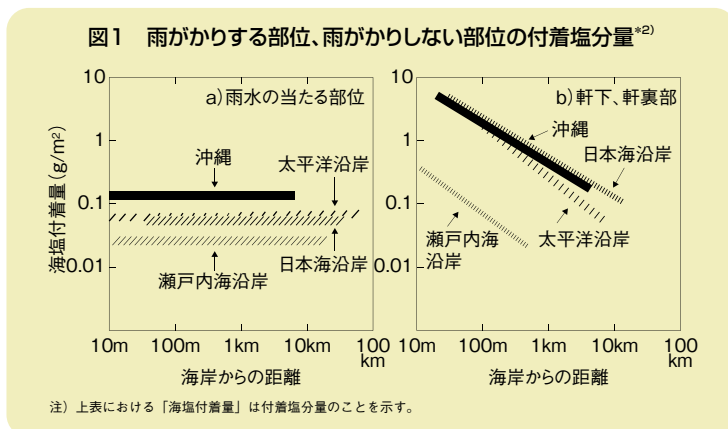


図2 酸性雨の生成メカニズム^{*3)}

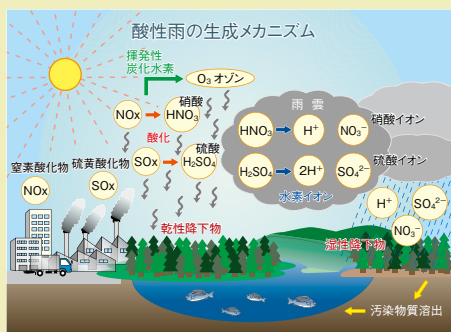
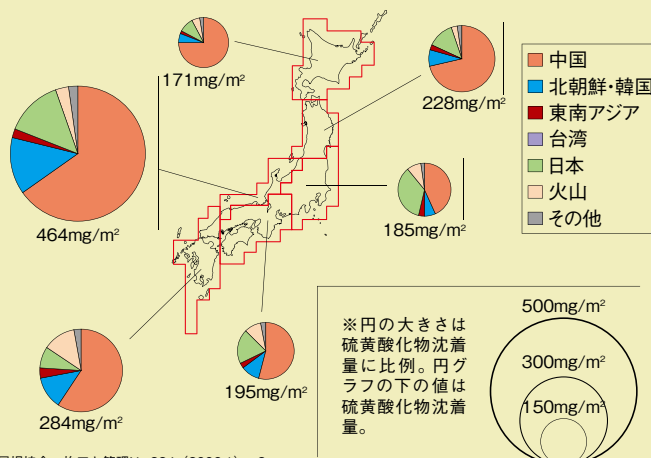


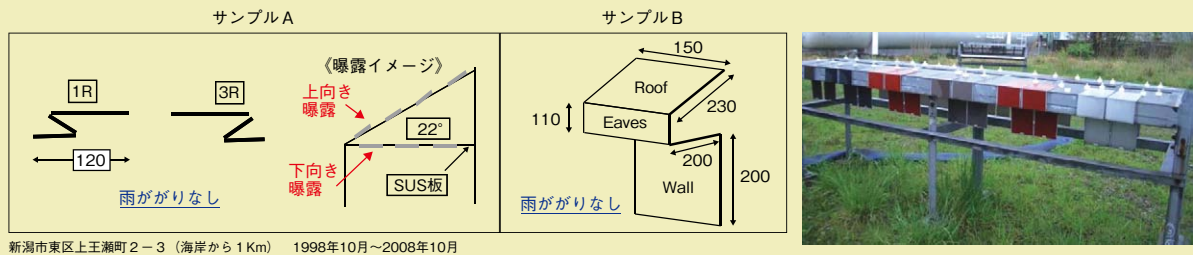
図3 1999年1月15日～2月15日の日本の硫黄酸化物沈着量とその発生源地域別割合^{*4)}



＜資料出所＞

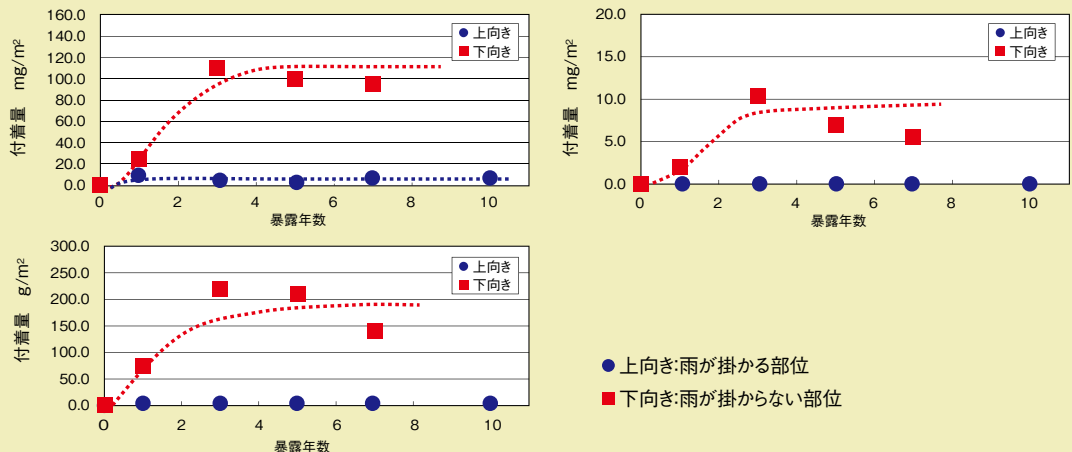
- * 1) 社団法人日本金属学会：施工と管理No.224 (2006.1) p.3
- * 2) 辻川ら：腐食・防食協会 第47回 材料と環境討論会 (2000)
- * 3) 独立行政法人 国立環境研究所編：環境概 No.12, p.5 (2004)
- * 4) 村野健太郎 (独) 国立環境研究所；環境省地球環境研究総合推進費終了研究報告書「東アジア地域の大气汚染物質発生・沈着マトリックス作成と国際共同観測に関する研究」(平成11年度～平成13年度) 中国における酸性雨原因物質の排出量とその影響についてp.2 (2004)

図4 雨がからない部分のシミュレート暴露試験



新潟市東区上王瀬町2-3（海岸から1Km） 1998年10月～2008年10月

図5 腐食性イオンの表面吸着量調査結果



② 塗り替え時期・判断基準・塗料情報を刷新

③ 材料標準保証規格の抜粋を掲載(下記参照) ※材料標準保証規格自体は平成 22 年 11 月に改定されています。

材料標準保証規格

建材薄板技術・普及委員会（旧 亜鉛鉄板委員会）は下記事項を材料標準保証規格と定めています。

- 保証対象
 - JIS G 3312 「塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」
 - JIS G 3318 「塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」
 - JIS G 3322 「塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯」
 - JIS G 3321 「溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯」

建築外装の屋根材として使用する上記1)～4)項に該当し、かつ建材薄板技術・普及委員会が制定する材料標準保証規格対象製品一覧に記載されている製品
- 保証内容
 - JIS G 3322 建築施工後、材料の腐食による穴あき及び赤さびがないこと。
注1) 切断端面から発生した赤さびは対象外
注2) 防食機構上生じる黒い腐食生成物は対象外(赤さびとは異なる)
 - JIS G 3312 } 建築施工後、材料の腐食による
JIS G 3318 } 穴あきがないこと。
JIS G 3321 }
- 保証期間 建築施工後10年間 但し、製造後6ヶ月を越えた製品で施工したものは、製造後6ヶ月より数えて10年間。

- 保証条件
 - 適切な環境で使用されていること。
 - 加工・施工・設計が適切に実施されていること。

ここで不適切な環境での使用例、不適切な加工・施工・設計の例を5項に示します。

- 不適切な使用例
 - 環境例
 - 塩害、亜硫酸ガス、アルカリなどの影響がある場合
 - 鉄粉などが付着した場合
 - 湖沼、河川などの周辺で常に水しぶきがかかる場合
 - 天災地変、災害など、その他不可抗力による損傷が発生した場合
 - 加工・施工例
 - 施工後に外力、加工層などの飛来による損傷があった場合
 - 加工時、施工時に損傷が発生した場合
 - 防腐剤、防蟻剤を含む木材との長期接触があった場合
 - 設計例
 - 葺工法毎に許容される屋根勾配を無視した場合
- 補償方法 各メーカーが定めた内容による。

※詳細は、建材薄板技術・普及委員会発行の「屋根用塗装／亜鉛めっき鋼板の標準保証規格」を参照ください。

④ (社)日本金属屋根協会断熱亜鉛鉄板委員会 の防火・耐火材料認定取得一覧表を掲載

⑤ 「カラー亜鉛鉄板」の表記を「塗装亜鉛系めっき鋼板」に変更

特集2

環境に対応した種々の工法 「屋上緑化」編

都市、地球の温暖化を防ぐ環境保護と
先端技術の融合。

屋上緑化は、身近な生活空間の快適性を進め、さまざまな経済的効果をもたらし、ひいては都市全体の環境改善に寄与して環境共生型の都市づくり実現のための重要な役割を果たします。屋根緑化の効果には下記のようなものがあります。

- 省エネルギー
- 建築物の保護
- 防火防熱効果
- 二酸化炭素(CO2)削減
- 癒し 等々

代表的な屋上緑化工法として、芝緑化、セダム緑化、コケ緑化などがあります。これらの共通点は、緑化植物が風などで飛散しないように金属枠に固定して、その金属枠をファインスチール屋根に固定するというものです。今回は『セダム緑化工法』を例に、ご説明します。

緑化工法例



ユニット化された軽量の植栽トレイを用いるので、ファインスチール屋根でも緑化屋上ができ、施工性にも優れています。
植栽トレイには、乾燥に強く屋上緑化に適したセダムを、適切に生産管理が行われている苗場で予め植え付けたものが使われます。

軽量

植栽トレイの軽量化進展に伴い、ファインスチール屋根と合わせ、構造体への負担が軽減されています。

施工性

屋根の上に直接植栽トレイを並べ、専用金具で固定するだけの簡単施工です。専用の下地や防水層の施工が不要で、現場での土壌の敷きならしや、植物の植付も不要なので極めて短工期で施工可能です。

メンテナンス

簡単に植栽トレイが取り外せるので、屋根の状態確認など施工後の目視点検も容易です。

セダムとは・・・

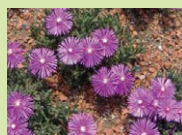
ベンケイソウ科のマンネングサ属(学名:sedum属)に分類される多年草の多肉植物です。サボテンと同様、乾燥に強く砂質土を好みます。



メキシコマンネングサ
開花時期：5月



キリンソウ
開花時期：5～8月



マツバギク
開花時期：6～10月



ファインスチール
を使った

建築 設計例

295

スイミーハウス

設計：三浦丈典 + 原口剛



閉じこもらない住宅

今回ご紹介する「スイミーハウス」は都心に建つ住宅である。大小の小屋が寄り集まってできたような特徴的な外観だが、街区の表層に建ち並ぶ高層のオフィスビルから、街区の内側へと徐々に小さくなる街のスケールによく溶け込んでいる。施主が化学物質過敏症（Chemical Sensitivity、以下CSと表記）という持病を抱えているため、設計者の三浦氏は建物の随所に様々な配慮を施しながら、施主の生

活が周囲と隔絶せず、近隣と良好な関係を結べるような住宅を目指した。

設計者の住宅への考え方

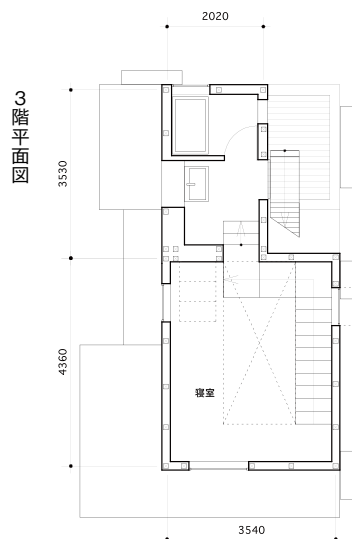
設計者は敷地選びから参加し、大人と子どもが挨拶し合う風景が自然に見られる下町感のあるこの地を薦めた。三浦氏は「場所が持つ風土のようなものは、地形のように特有なものであり、それを読み取り、またそれが豊かなところに建てたいという思いがあった」と語る。均

質でなく、都市的な濃淡のあるこの地こそ施主にふさわしいと判断した。

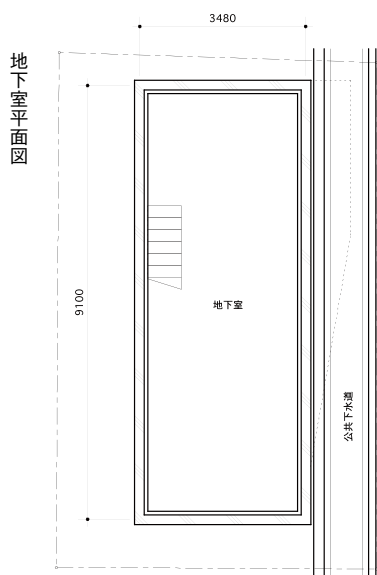
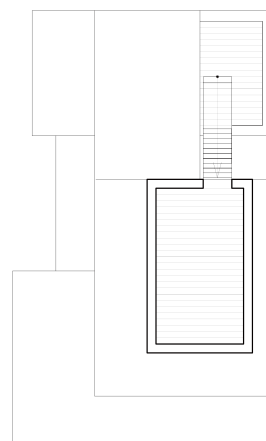
周囲にはデザインの凝った住宅も立ち並ぶが、そういうものに限ってシェルターのように、中の様子は感じられないものが多い。どこにどんな部屋があるのか、あるいは生活の気配が何となく外からわかるような隙や愛嬌があり、道を行き交う人々にも拒絶されている印象を与えない家がよいのではないか。特徴的な外観は敷地の読み込みと設計者の思いから生まれた。



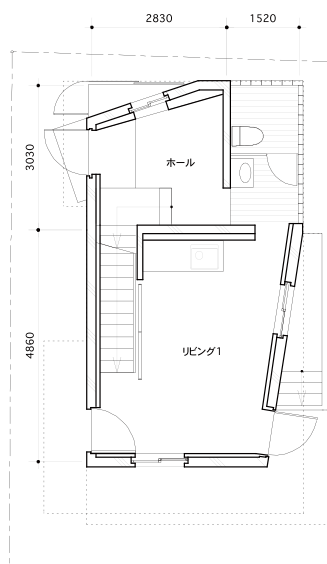
(写真はすべて、浅川敏氏撮影©)



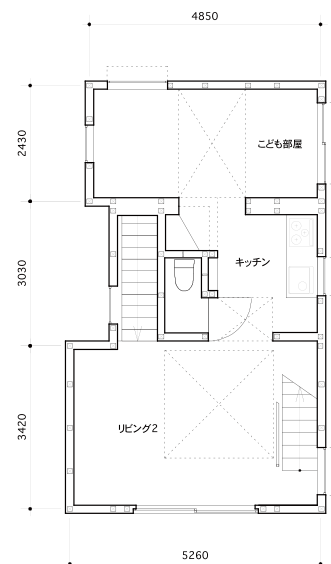
屋上階平面図



1階平面図



2階平面図



断面計画・平面計画

「小さい部屋が落ち着く」という施主からの要望から、スタディ段階では小さな四角い箱を積み重ねる案を検討していた。しかし、この住宅が建った時、周囲の人からは箱の集合体というより一つの凸凹した塊に見えてしまうのではないかと考えて立ち止まった。そうではなく、絵本「スイミー」に描かれているような、小さな生き物が寄り集まって健気に生きているイメージに立ち戻り、勾配屋根の小屋を積み重ねる案を改めて提案したところ、施主にも大変気に入ってもらえたという。

小さい部屋は温熱環境的に効率が高く、内装材にはノンケミカルな無垢の木と漆喰を採用した。木材は吸湿効果が高いが、それ自体は匂いが強いものなので、漆喰と木を適度なバランスで使うのがよいという。一つ一つの部屋でこの割合を保ち、天井と床を木、壁を

漆喰で仕上げ、環境性能的にもバランスの良い空間となった。

内部空間はらせんを描くように部屋が連なり、びたりと密着して内外の隔てがない距離感と関係性を目指した。動くにつれて、美術館の空間のように次々と新しい風景が連続して体験できる。台形状の部屋が接し合う特殊な形状では、一つの屋根の勾配を変えることで全体が連動して変化する。断面設計は非常に神経を使う作業であったという。

ファインスチールへの考え方

施主はCSに加え電磁波障害も併発しているため、磁場を生じやすい鉄骨造は望ましくなかった。そこで、上階は風通しの良い空間性と設計施工への柔軟性を重視して木造とし、地階から1階までを鉄筋コンクリート造とした。

電磁波からの影響については、未だ解明されていない部分も多いが、CS症状がある人の中には、パソコンや家電機器からの電磁波で体に変調をきたすケースが少なくない。外壁に金属板を使用することで、電磁波を遮蔽して影響を軽減できるという説があることを知り、外壁と屋根にガルバリウム鋼板を採用した。三浦氏は「今まで知られていなかった新しい効果が実証されれば、設計者の側も使いやすくなる。実験を行ってガルバリウム鋼板の効果が数値化されると良いですね。」と語った。

外壁のガルバリウム鋼板の施工作業をしている時は、最も現場に足繁く通い板金職人さんと密にコミュニケーションをとっていたため、「集落の家をつくっているような」楽しい時間だったという。この住宅は特殊な形状から複雑なディテールが多く、屋根から壁までを軒や樋を付けずに一体に張り下ろしながらも、小屋の重なり具



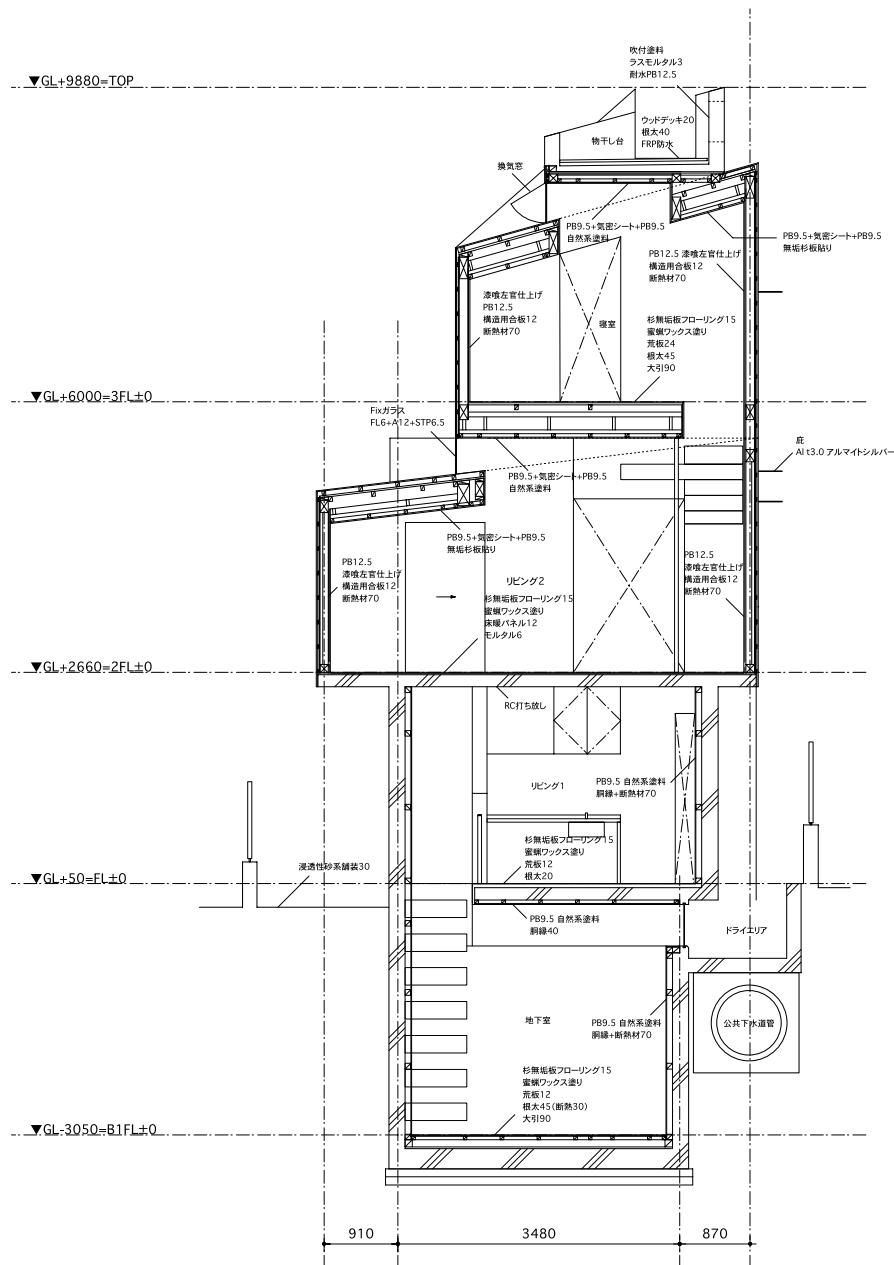


合によって入隅出隅が随所にある。設計段階では想定外の見えや取り合いになることが多々あったという。ガルバリウム鋼板の外壁には子どもが作ったおもちゃのような手の温もりがあり、いい意味で建物から力が抜ける印象がある。建物にあるルーズさを予感させる、親しみが持てる建材として解釈しているのだと三浦氏は語る。

夏の輻射熱対策として、エアコンをあまりつけなくても済むようにするため、日光の反射率が高い白と素地のガルバリウム鋼板を選び、違うピッチのもので張り分けることによって「寄り集まった感じ」や遠近感を演出した。色の違う板を勝ち負けなく突き合わせて、軒から外壁までシームレスに見せる張りのディテールは職人の技である。

環境への徹底した取り組み

三浦氏は、設計以上に施主との交流や現場での体験を通して建築家としての意識が変わってきたという。



この住宅は健康素材にこだわり、材料・仕様はもちろん、パテや接着剤に到るまで細かく配慮している。さらに、現場での喫煙や、他の現場から持ち込んだ工具や服の汚れでも影響が出るため、現場の出入りに関する監理を非常に厳しく行った。打ち合わせでの身だしなみや筆記用具にもチェックを怠らず、使う図面も前の日に打ち出してインクの匂いを消しておく。建物のみではなく人間としての心配りこそが最もシビアなのである。施主が抱える特殊な状況を理解し、徹底して

取り組んだことにより、改めて建築の現場での問題点を感じ、素材選びにも新しい知見を得ることができた。

現在、施主はこの住宅を自分に合った住まい方にカスタマイズしており、まるで昔からそこにあったかのように周囲にも溶け込んでいる。三浦氏は「CSの方でも都心に住めること、対応してくれる設計者や工務店がいること、現行の材料で対策できるという情報を伝えていくことで救われる人もいるのではないか。」と語った。

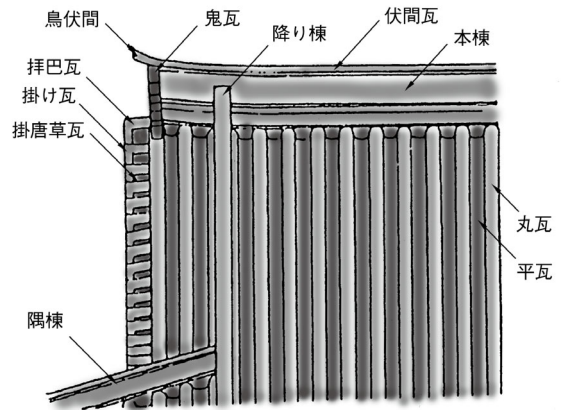
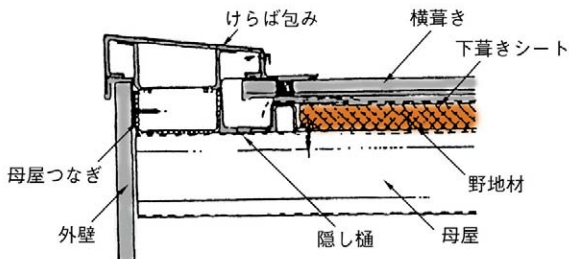
設計：三浦丈典(スターパイロット) + 原口剛(原口剛建築設計事務所)

スターパイロット / 〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-14-6 TRUNK [tel] 03-6452-2845 [fax] 03-6452-2846 [e-mail] flight@starpilots.jp [URL] http://www.starpilots.jp/
原口剛建築設計事務所 / 〒351-0104 埼玉県和光市南2-1-12-406 [tel/fax] 048-461-7795 [e-mail] t_haraguchi@thaa.jp [URL] http://www.thaa.jp/

レポーター：東京大学 大月研究所 北原玲子(D2) 高橋忠輝(M1)

① 隠し樋 [かくしどい]

隠し樋は、横葺きや瓦葺き・住宅用屋根スレート葺きなどで、屋根面が外壁に接する箇所や一部のけらば部分に設けられる樋で、外観上見えなくなる樋です。図は横葺きのけらばの例です。通常の納め方では、漏水の危険が想定される箇所に、万一漏水しても実害のないよう雨水を屋根面の下で受け、軒先まで水を導いて排出することが隠し樋の役割です。外観上人目に触れないので隠しという名がついています。



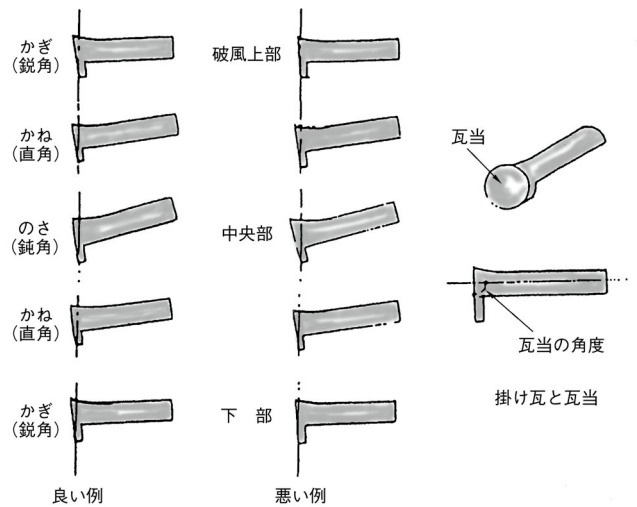
そこで、もし掛け瓦の瓦当面と瓦の胴部分の軸とが成す角度を一定にすると、図の悪い例のようにけらばの先端部分が揃わなくなり、非常に見苦しくなります。そこで掛け瓦の瓦当の角度を変えて箕甲の角度にあわせるようにしたらけらばの先端が揃い、綺麗に見えます。

② 掛け瓦 [かけがわら]

入母屋造りの本瓦葺き屋根では、けらばの部分を箕甲納めとするのが一般的です。この箕甲部分に用いられる瓦の一種が掛け瓦です。けらば部分の外観は図のようになっています。

掛け瓦は掛唐草瓦と併せて葺かれます。

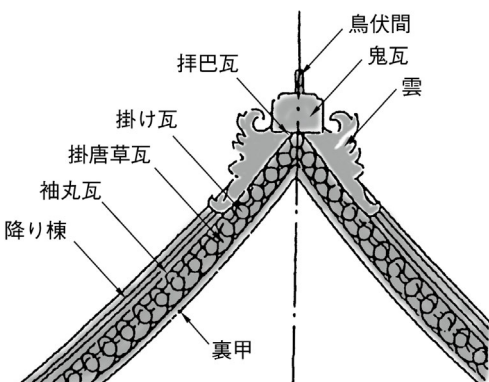
ところで箕甲は、屋根の野地面より裏甲が流れの中央で下がります。下がる度合いは裏甲の頂部と下端では少なく、両者の中間点が最も大きくなります。この差を箕甲落ちと呼んでいます。さて掛け瓦と掛唐草瓦は、一般の軒先の瓦に外観が似ています。



そのため、掛け瓦の瓦当角度を3種類に造り分ける方法があり、それを使い分けて葺かれます。

その一つは瓦の軸と瓦当のなす角度を鋭角としたもので「かぎ」といいます。その二は角度を直角にした「かね」というもの、その三は鈍角とした「のさ」という瓦です。これらの使い方は、図のようになります。こうすることによって綺麗なけらばの線が出来上がります。

以上は瓦の話でしたが、銅板の銅瓦葺きの場合でも同様です。ちょっとした注意によって、より良い屋根となります。



3 爪切り葺き [つめきりぶき]

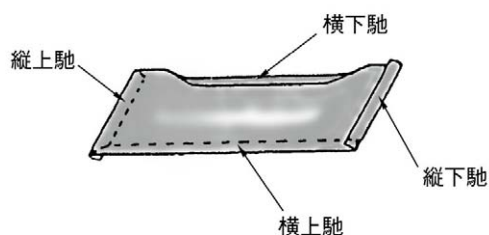
一文字葺きの工法の一つです。葺き板を図のように加工します。

横上馳は板幅の全長にわたって、あらかじめ造られています。横下馳は全長の約1/4の長さ程度にし、か造られていません。

葺き方は縦上馳を、既に葺いてある隣の葺き板の縦下馳に掛け、馳を滑らせながら差し込みます。葺き板が横下馳位置で止まったら、隣の葺き板の横下馳と共につかみ箸で横馳を造ります。この作業を繰り返して、屋根を葺きます。

ところで爪切り葺きの場合の屋根の最小勾配は3/10といわれています。これは雨漏りを意識したもので、葺き板の角部分で縦と横の馳が切断されていることによっています。

それはそれとして、爪切り葺きは国宝や重要文化財指定の建物の屋根に、使われることはありません。さらに板を銅板とした場合、爪切り葺きとすることが一般的です。

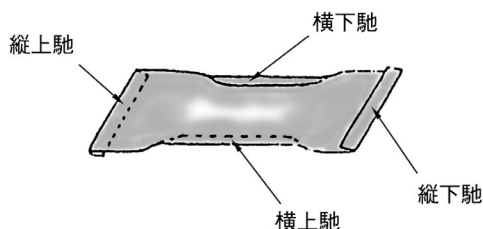


4 つかみ込み葺き [つかみこみぶき]

つかみ込み葺きは爪切り葺きと共に一文字葺きの工法の一つです。

葺き板は、図のように加工されます。横馳は上下共葺き板の幅の約1/4程度の長さしか造られていません。

葺き方は、既に葺いてある隣の葺き板の縦下馳に縦上馳を掛け、馳締めの後横下馳をつかみ箸で造り、横上馳も同様に造ります。従って縦馳で繋いだ葺き板は非常に堅固に接合されます。



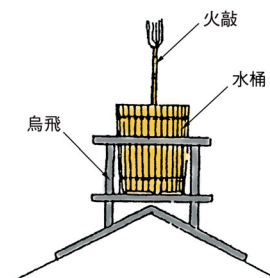
また葺き板の四隅の馳は切断されていませんので、爪切り葺きより漏水に対して安全といえます。この点を根拠に、つかみ込み葺きの屋根の最小勾配は、2.5/10といわれます。国宝や重要文化財指定の建物の屋根には、必ずつかみ込み葺きが採用されます。

しかし、葺き板が銅板の場合は、横馳をつかみ箸で造る作業が非常に困難なため、この工法としないのが実情です。

5 烏飛 [からすとび]

烏飛の意味は2通りあります。その1は、棟の上に天水桶を置くとともに消火用の藁箒を立てて置いた防火用の施設です。江戸時代の浮世絵にも描かれています。図をご覧ください。

その2は棟の一部が上方方向に突出している部分を烏飛といいます。先の防火用施設よりも広い意味を表しています。

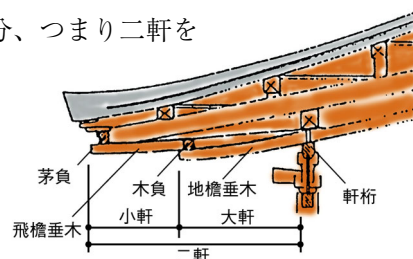


6 大軒 [おおのき]

古建築の軒先を下から見上げるとき、大半は二軒（フタノキ）といって垂木が2段で構成されています。まず軒桁から地檐垂木（ジエンタルキ）が軒先に向かって突き出しその端には木負（キオイ）が、各地檐垂木を繋ぐように載っています。大軒は外壁から木負までの間を指しています。

7 小軒 [しょうのき]

二軒の木負より先端に向かっては飛檐垂木（ヒエンタルキ）があって、その先端部には茅負（カヤオイ）が置かれています。この飛檐垂木のある部分を小軒と呼んで大軒と区別する呼称があります。図は大軒と小軒の部分、つまり二軒を表しています。



テーマ建築③

アラビアン・ナイトの町

工学院大学建築学科
藤森研究室

もとこ
担当 丸山 雅子

今から11年前、テーマタウンなるものの存在をここで初めて知った。場所は米国フロリダ州マイアミのダウンタウンから約15km北西のオパラッカ (Opa-locka)。変わった名前なのは、原住民による地名「Opa-tisha-woka-locka」が短く縮められたためだ。だが名前以上に見た目が変わっている。フロリダとは縁もゆかりもないはずのアラビアン・ナイトをテーマに町が作られているのだ。

日本には、外国や特定の時代をテーマとする「〇〇村」という名前のテーマパークがいくつもあって、村長を名乗る人がいたりするが、オパラッカは正真正銘地方自治体で、約1万5000人の住民がいて役所や議会があって市長がいて、鉄道駅や空港まである。



図1 オパラッカ市議会の装飾
「アラビアン・ナイトの市」と誇らしげに書かれている。
下に写っているのは市章。

オパラッカを建設したグレン・カーティス (Glenn Curtiss) は、発明家で飛行家で、航空史上ライト兄弟のライバルとして位置づけられる人物で、実業家として大きな成功を収めた億万長者だった。1920年代にフロリダの土地開発に関心を持ち、1921年にハイアリア (Hialeah)、1923年にマイアミ・スプリングス (Miami Springs) を手がけ、オパラッカは彼にとって三つめの開発事業だった。マイアミ・スプリングスもテーマタウンで、プエブロ様式をテーマとしている。アメリカ南西部の原住民に由来する建築様式をフロリダに移植し、違和感たっぷりの町並みを展開しているが、彼はオパラッカのためにさらに広くテーマを求め、まずスイスを、次にロビンフッドの伝説を候補に考えたという。



図2 オパラッカ市役所
オパラッカのシンボリックな建物。建設当初は「シェヘラザード城」と呼ばれていた。

それにしてもアラビアン・ナイトとは大胆である。あまりに突飛だし、魔人の力で夢幻のごとく一瞬にして消えてしまいそうだ。誰が最初に思いついたかについては二つ説あって、一つめは建築家のベルナルド・E・ミュラー (Bernhardt E. Muller) がカーティスに提案したというもの。ミュラーはパリのエコール・デ・ボザールで教育を受けた建築家で、その彼がなぜと不思議に思われるかもしれないが、当時の状況を考えるとあり得なくもない。当時フロリダ南部ではスパニッシュ・コロニアル・リヴァイヴァル様式が流行し、優美な豪邸や高級ホテルが出現していたから、イスラムの要素を強めに採用して、よりエキゾチックで魅力的な町並みを作ろうとしたのかもしれない。

二つめは、ある女性が何も無い土地に町を建設する計画を聞いて、「それはまるでアラビアン・ナイトの一場面のようなね」と発した言葉がカーティスにインスピレーションを与えたというもの。当時はア

ラブへの関心が高く、例えばハリウッド映画ではルドルフ・ヴァレンティノがアラブの族長に扮して白人女性と恋に落ちる「シーク」(1921年)やダグラス・フェアバンクス主演の「バグダッドの盗賊」(1924年)がヒットしていたから、こちらもあり得る話である。



図3 ハリー・ハートビルディング
市庁舎と共に町のランドマークとなっている建物。
アリババ通りとオパラッカ大通りの角に立つ。

ともあれ、カーティスとミュラーによってオパラッカに100余棟の建物が完成し、それらはムーリッシュ・リヴァイヴァル様式と呼ばれた。ムーリッシュ (Moorish) とは、北西アフリカのイスラム教徒のという意味である。その代表はオパラッカ市役所である。トロピカルな植栽を従え、頂部がギザギザの胸壁、3基のミナレット、5つのドーム屋根、六角形平面の物見の塔を備え、紅白の縞々のアーチが来客を迎えてくれる。アーチをくぐると奥に馬蹄形アーチが続き、突き当たりには色鮮やかなタイルで装飾された噴水池が見える。バルコニー、外階段、ロτζア、化粧梁に三日月や星の装飾などムーリッシュらしい要素が満載である。一方、住宅はそれほど凝ってはいないが、日干しレンガ造風の外壁に、ドームやアーチ、バルコニーや外階段などが見られる。

建物以外では道路も変わっている。格子と円弧と放射状の組み合わせで計画され、米国には珍しいパターンを描いている。鉄道に並行して延びるアリババ通りを起点に何本か道が始まるのだが、例えばシェヘラザード大通りは四分の1円弧を描いたあと直進し、アラジン通りは垂直に延びた後シェヘラザード大通りの円弧を過ぎると放射状に延びる。このように通りの名前もアラビアン・ナイトに由来している。ハーレム通り、スルタン通り、カリフ通

り、サリフ通り、アラビア通り、バグダッド通り、シンドバッド通り、アフメド通り、そしてもちろんセサミ・ストリートも存在する。

残念なことに、私が訪ねた頃のオパラッカは犯罪発生率が高い地域で、荒み、建物はどこも汚れていた。兄貴分のマイアミ・スプリングスと比べると、テーマはアラビアン・ナイトの方が強烈だが、兄の方がきれいに手入れされ、裕福で健康的な雰囲気が漂っている分、冗談としか思えない異様さが際立っていた。オパラッカは今どうなっているのか、心配になって、現代の魔法のじゅうたん、グーグル・ストリートビューで再訪すると、すっかり様子が変わっていた。廃屋で立入禁止だった旧駅舎は修復され、住宅地の環境も明らかに改善されていた。まるで魔法を見ているようだ。



図4 オパラッカの住宅例
グーグル・ストリートビューでこの場所を再訪したところ、
住宅はきれいに修復され、環境も美化されていた。

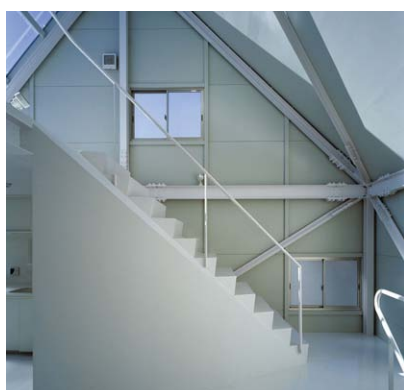
マイアミとその周辺はテーマ建築で溢れている。数、種類、規模、質、インパクトが半端でない。マイアミ・アールデコ、スパニッシュ・コロニアル・リヴァイヴァルの別荘群、イタリア風の趣向を凝らした町コーラル・ゲブルズ、東西南北のファサードがイタリア風でも異なる様式の豪邸ヴィスカヤなどは有名で観光客も多いが、マイアミ・スプリングスとオパラッカ、その他にシュヴァルの理想宮のフロリダ版とも言うべき「珊瑚城 (Coral Castle)」、アメリカ大陸でもしかしたら最古の西洋建築の「古代スペイン修道院 (Ancient Spanish Monastery)」なども一見の価値がある。

建築然り人間然り、私はフロリダでいろんな人の生き方に接して刺激を受けた。今思えばあのときの経験は全く現実ばなれしていた。案外、フロリダとアラビアン・ナイトには通ずるものがあるのかもしれない。

街でみかける ファインスチールの施工例 その5

三 ムサコハウス

この建物は不燃化促進地域に指定されている武蔵小山（品川区）の49㎡の狭小地に建てられた自宅兼アトリエである。猫の額ほどの土地に建てられる建物は、道路斜線や北側斜線によってほとんど自動的に外形が決められてしまう。この形を三角形に分割しながら小断面の鉄骨を組み上げ、その外側に金属断熱サンドイッチパネル（外皮材：フッ素塗装ガルバリウム鋼板）を付けた。狭小地でも重機を使わずに建て方ができ、現場での加工調整がしやすいので不整形な壁面も構成できる。しかも、耐火建築物にしたことで防火地域内でも3階建てが可能になった。こうした結果が、この場所にできる最大限の空間の実現につながった。金属断熱サンドイッチパネルを隔てて、外はすぐ「まち」。接近戦のような建て込み方をしている場所では、金属断熱サンドイッチパネルが必要最小限のシールドになることがわかった。





2 茂木町立茂木中学校

〈第 22 回栃木県マロニエ建築・景観賞受賞〉

校舎は一部鉄筋コンクリート構造となっているが、校舎内装や家具等はすべて無垢材を使用する木の香り豊かな空間を呈している。さらに、丸太柱の大空間を創り出すため井桁工法と呼ばれる新しい木造技術を導入し、太陽光発電設備、自然換気、省エネ型照明などの環境に配慮するとともに、床・壁の板材には石油系塗料ではなく、米ぬかとエゴマを主成分とする自然塗料を採用している。年 2 回生徒たちが雑巾がけをし、木材の特性を学ぶ機会とするなど、建設ならびに竣工後の維持管理が生徒をはじめ広く町民各層の学習に結びつく建築のあり方が評価され、第22回栃木県マロニエ建築・景観賞を受賞した。

地上階数：2 階

建築面積：6148.28 平方メートル

延床面積：7913.32 平方メートル

仕 様：屋根 / ガルバリウムカラー鋼板立てハゼ葺
外壁 / ガルバリウムカラー鋼板平張



進化した“トタン” ファインスタイル

めっき技術や塗装技術の飛躍的發展により、
耐久性に優れ、軽くて地震にも強く、
遮音性・遮熱性も増し、リフォームにも適した
亜鉛ベースのめっき鋼板・塗装鋼板の総称です。



禁無断転載